

目標 I

精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 精神保健の基本	A. 精神の健康の概念	a. 精神の健康の定義	精神看護学① 序章-II-A 精神の健康とは (P7~8), II-B 精神の健康を支える要因 (P8~10), <別巻>ヘルス 5章-II-A 精神の健康 (P258~260)	107-PM-59, 105-AM-58
		b. 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学① 序章-III-B 地域精神保健における第1次予防, 第2次予防, 第3次予防 (P14~15)	
	B. 心の機能と発達	a. 精神と情緒の発達	精神看護学① 1章-II-B 心理学: 欲動論 (P51~54), 2章 精神(心)の発達に関する主要な考えかた (P76~100)	107-AM-80, 104-AM-67
		b. 自我の機能	精神看護学① 1章-II-C 心理学: 自我の防衛機制 (P54~58)	
		c. 防衛機制	精神看護学① 1章-II-C 心理学: 自我の防衛機制 (P54~58), 精神看護学② 5章-I-A-4 自我の防衛機制 (P231), I-A-表5-3 精神疾患をもつ人の自我の防衛機制的表現 (P232)	
		d. 精神力動	精神看護学① 1章-II-A 精神力動理論とその派生理論 (P47~51), 精神看護学② 3章-III-D-3-4 精神力動的療法(精神分析) (P181~182)	
		e. 転移感情	精神看護学① 1章-II-A-3 無意識への抑圧 (P49~50), 精神看護学② 4章-I-D-1-2 転移 (P203~205)	
	C. 精神の健康に関する普及啓発	a. 偏見、差別、スティグマ	精神看護学② 1章-II-A スティグマ (P5~6)	
		b. 精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学② 7章-I-B-1 精神医療の改革と地域生活支援の強化 (P394), II-A-2 国が目指す精神保健医療福祉の改革とその方向性 (P401~402), II-C-1 長期入院患者の地域生活移行支援の背景・経緯 (P410~411)	
	D. 危機<クライシス>	a. 危機<クライシス>の概念	精神看護学① 5章-I 危機とは何か?: 危機理論・危機モデル (P150~152)	106-PM-55
		b. 危機<クライシス>の予防	基礎看護学④ 3章-II-D-4-2 社会的支持が得られること (P68), II-D-4-2 患者の対処機制を発揮させること (P69)	
		c. 危機介入	精神看護学① 5章-I-2-3 災害時の心理的危機 (P152), III-3-5 医療場面での応用 (P163), IV-2 ストレスマネジメント (P166~170), IV-3 アンガーマネジメント (P170~171), IV-4 コーチング (P171~172)	
		d. ストレスと対処	精神看護学① 5章-II ストレスとコーピング (P152~157), III 適応と不適応(適度なストレス状況とは) (P158~165), IV セルフマネジメント (P165~172)	
		e. 適応理論	精神看護学① 5章-III-3 心理学的ストレスモデルとストレスコーピング (P159~165)	
	E. 災害時の地域における精神保健医療活動	a. 災害時の精神保健医療活動	精神看護学② 8章-III 災害時の精神保健: 災害時地域保健医療活動と心のケア (P487~505), 統合と実践②災害看護学 4章-VI-H 急性期の精神反応 (P176~182), 5章-II-B 災害による死とグリーフケア (P212~213), III-A 亜急性期のメンタルヘルスケア (P213~214)	107-AM-57
		b. 災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学② 8章-III-C 災害時の精神保健初期対応 (P494~496)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
1. 精神保健の基本	E. 災害時の地域における精神保健医療活動	c. 災害時の精神障害者への治療継続	精神看護学② 8章-III-E 被災した精神障害者への支援 (P500~505)	
		F. 精神の健康とマネジメント	a. 心身相関と健康	精神看護学① 序章-II-A-3 心身一如と精神的健康 (P8), 精神看護学② 8章-I-A リエゾン精神看護とは (P452~454)
	F. 精神の健康とマネジメント	b. 身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学② 8章-I-A リエゾン精神看護とは (P452~454), I-B-1 直接ケア (実践) (P454~457), I-B-2 コンサルテーション (相談) (P457~458)	
		c. 精神疾患がある者の身体の健康	精神看護学② 2章-II-A 診察 (P44~49), 8章-I-B-1 直接ケア (実践) (P454~457), I-B-2 コンサルテーション (相談) (P457~458)	
		d. 患者と家族の精神の健康	精神看護学② 8章-I-B-1 直接ケア (実践) (P454~457)	
		e. 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学② 8章-I-B-2 コンサルテーション (相談) (P457~458), I-B-3 コーディネート (調整) (P459), I-B-7 看護師のメンタルヘルスケア (P461~463)	
		f. 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	精神看護学② 8章-I-A-1 コンサルテーション・リエゾン精神医学とリエゾン精神看護学の発展 (P452~453)	
		g. リエゾン精神看護	精神看護学② 8章-I-A-1 コンサルテーション・リエゾン精神医学とリエゾン精神看護学の発展 (P452~453)	108-PM-60
h. 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学② 8章-I-B-2 コンサルテーション (相談) (P457~458), I-B-3 コーディネート (調整) (P459), I-B-4 教育 (P459~460), I-B-5 倫理調整 (P460), I-B-6 研究 (P460~461), I-B-7 看護師のメンタルヘルスケア (P461~463)			

目標Ⅱ 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A. 症状性を含む器質性精神障害 105-AM-78, 104-AM-66	A~Lの共通の小項目	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄 (P132~133), II-M-2 認知症 (P132~136), II-M-4 軽度認知障害 (P140), 6章-II-D 認知症 (P319~325)	108-AM-66, 104-PM-87
		a. 症状と看護	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄 (P132~133), II-M-2 認知症 (P132~136), II-M-4 軽度認知障害 (P140), 6章-II-D 認知症 (P319~325)	
		b. 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学② 3章-II-M-1 せん妄 (P132~133), II-M-2 認知症 (P132~136), II-M-4 軽度認知障害 (P140), 6章-II-D 認知症 (P319~325)	
B. 精神作用物質使用による精神・行動の障害 107-PM-106・107	c. 薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-L-2 症状 (P128~130), 6章-II-F アルコール依存 (P331~338)	105-AM-112, 113	
		精神看護学② 3章-II-L-4 検査 (P131), 6章-II-F アルコール依存 (P331~338)		
C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害		精神看護学② 3章-II-L-5 治療 (P131~132), 6章-II-F アルコール依存 (P331~338)		
		精神看護学② 3章-II-B-1-3 症状/状態 (P73)	108-PM-109, 104-AM-112, 104-PM-79	
		精神看護学② 3章-II-B-6 治療/支援 (P74~76)		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	C. 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	A~Lの共通の小項目 a. 症状と看護 b. 臨床検査および心理検査と看護 c. 薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-B-6 治療/支援 (P74~76)	107-AM-106・107・108, 107-PM-60, 106-PM-106
	D. 気分(感情)障害		精神看護学② 3章-II-B-3 緊張病 (P78), II-C-1-1) 双極性障害 (P79), II-C-1-2) 持続性気分障害 (P79~80), II-D 抑うつ障害群 (P83~91)	108-PM-112, 106-AM-109, 110, 105-PM-109, 110, 104-PM-109, 111
	E. 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害		精神看護学② 3章-II-C-5 検査/診断 (P81~82), II-D	
			精神看護学② 3章-II-C-6-1) 薬物療法 (P82), II-D-5 治療/支援 (P87~89)	108-PM-113
			精神看護学② 3章-II-A-1-3 症状/状態 (P67), II-E-3 症状 (P92~94), II-F-1-5 症状 (P98~99), II-F-2 ためこみ症 (P100), II-F-3 醜形恐怖症 (P101), II-G-1-2 診断/症状 (P103), II-G-2 急性ストレス障害 (ASD) (P105), II-G-3-2 症状 (P106), II-H-3 症状 (P109~110), II-I-1-1) 疾患概念/症状 (P112), II-I-1) 疾患概念/症状 (P112~114)	108-AM-112, 113, 114, 107-PM-109, 110, 111
			精神看護学② 3章-II-A-1 知的能力障害群 (P66~68), II-E-5 検査/診断 (P94~95), II-H-5 診断 (P110~111)	
			精神看護学② 3章-II-A-1-4 治療/支援 (P67~68), II-F-1-7 治療 (P99~100), II-G-1-5 治療/支援 (P104), II-G-3-3 治療/支援 (P106~107), II-H-6 治療/支援 (P111), II-I-2-3) 治療 (P112~113)	
	F. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 108-PM-62		精神看護学② 3章-II-J-3 症状 (P118~119), II-K 睡眠覚醒障害群 (P123~125)	106-AM-112, 113
			精神看護学② 3章-II-J 食行動障害および摂食障害群 (P115~122), II-K-2-4) 診断 (P125)	
			精神看護学② 3章-II-J-5 治療/支援 (P120~122), II-K-1-5) 不眠障害の治療 (P124)	
	G. パーソナリティ障害		精神看護学② 3章-II-N-1 疾患概念/定義 (P140~142)	
			精神看護学② 3章-II-N-2 診断 (P142)	
			精神看護学② 3章-II-N-3 治療 (P142~143)	
H. 習慣および衝動の障害	精神看護学② 3章-II-F-4 抜毛症 (P101), 3章-II-L-2-3) 嗜癖性障害群 (P130)	108-PM-110		
	精神看護学② 3章-II-F-4 抜毛症 (P101), 3章-II-L-4 検査 (P131)			
	精神看護学② 3章-II-F-4 抜毛症 (P101), 3章-II-L-5 治療 (P131~132)			
I. 性同一性障害	母性看護学① 1編-6章-VI-3 性同一性障害とは (P187~188)			
	母性看護学① 1編-6章-VI-2 性同一性障害の特徴 (P188)			
	母性看護学① 1編-6章-VI-3 性同一性障害の治療 (P188~189)			
J. 知的障害(精神遅滞) 108-PM-61	精神看護学② 3章-II-A-3 症状/状態 (P67)			
	精神看護学② 3章-II-A-3 症状/状態 (P67)			
	精神看護学② 3章-II-A-4 治療/支援 (P67~68)			
K. 心理的発達の障害	精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P68), II-A-3-3 症状/状態 (P69~70), II-A-5 限定性学習症/限定性学習障害 (P71~72), II-A-6-1) 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P72)	108-AM-67		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
2. 主な精神疾患・障害の特徴と看護	K. 心理的発達障害	A~Lの共通の小項目 a. 症状と看護 b. 臨床検査および心理検査と看護 c. 薬物療法と看護	精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P68), II-A-3-3 症状/状態 (P69~70), II-A-5 限定性学習症/限定性学習障害 (P71~72), II-A-6-1) 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P72) 精神看護学② 3章-II-A-2 コミュニケーション症群/コミュニケーション障害群 (P68), II-A-3-4 治療/支援 (P70), II-A-5 限定性学習症/限定性学習障害 (P71~72), II-A-6-1) 発達性協調運動症/発達性協調運動障害 (P72)	
		L. 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	精神看護学② 3章-II-A-4-3 症状/状態 (P71), II-A-6-2) 常同運動症/常同運動障害 (P72), II-A-6-3) チック症群/チック障害群 (P72~73), II-G-4 その他 (P107) 精神看護学② 3章-II-A-4-3 症状/状態 (P71), II-A-6-2) 常同運動症/常同運動障害 (P72), II-A-6-3) チック症群/チック障害群 (P72~73), II-G-4 その他 (P107) 精神看護学② 3章-II-A-4-4 治療/支援 (P71), II-A-6-2) 常同運動症/常同運動障害 (P72), II-A-6-3) チック症群/チック障害群 (P72~73), II-G-4 その他 (P107)	

目標Ⅲ

精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A. 援助関係の構築	a. 信頼関係の基礎づくり	精神看護学② 4章-I-A-2 信頼関係はどのようにして構築されるか (P195~196), I-C 関係構築にあたっての基本的な態度 (P199~202)	
		b. 患者-看護師関係の発展と終結	精神看護学② 4章-I-A-3 「患者-看護師」関係が目指す方向 (P196), I-D 患者とのかかわりで起こりうることと対処 (P202~206), 5章-II 精神障害をもつ人のセルフケアの援助 (P237~251), III 患者による自己管理 (P251~259)	
		c. プロセスレコードの活用	精神看護学② 4章-III 精神障害をもつ人との関係の振り返り (P217~225)	104-PM-67
	B. セルフケアへの援助 108-PM-111	a. 食物・水分の摂取	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-1 空気・水分・食物 (薬も含む)の十分な摂取 (P243~244)	
		b. 呼吸	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-1 空気・水分・食物 (薬も含む)の十分な摂取 (P243~244)	
		c. 排泄	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-2 排泄と排泄のプロセスに関するケア (P244~245)	
		d. 清潔と身だしなみ	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-5 体温と個人衛生の維持 (P245~246)	
		e. 活動と休息	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-3 活動と休息のバランスの維持 (P245)	
		f. 対人関係	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-4 孤独と社会的相互作用のバランスの維持 (P245)	
		g. 安全	精神看護学② 5章-II-B-2-2)-6 安全を保つ能力 (P246)	
C. 生きる力と強さに着目した援助	a. レジリエンス	精神看護学② 3章-II-G-1-4 レジリエンスへの支援 (P104), 5章-II-コラム レジリエンスとストレス (P236)		
	b. リカバリ(回復)	精神看護学① 序章-III-C リカバリーを機軸とした精神医療 (P16~18), 精神看護学② 1章-IV-4 リカバリー概念: 当事者の主体的な自分の人生への関与 (P18~19), 3章-III-C-1-2-1) リカバリーの理念とストレングスへの注目 (P171), 5章-III-C-2 IMR (疾病管理とリカバリー) (P255), 7章-I-A-5 心理社会的リハビリテーションにおけるリカバリー概念と地域ケア (P389~391)	107-PM-82, 104-AM-90	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
3. 精神看護の対象の理解と支援のための概念	C. 生きる力と強さに着目した援助	c. ストレングス(強み、力)	精神看護学① 5章-Ⅲ-3-8) ストレングス (P164), 精神看護学② 3章-Ⅲ-C-1-2-1) リカバリーの理念とストレングスへの注目 (P171), 5章-I-B-2 精神障害をもつ人に適用される看護診断とストレングス (P234), I-C ケアプラン (P234~235), 7章-II-C-4-2-(2) ストレングスモデル (P417~418)	
		d. エンパワメント	精神看護学② 5章-II-B-4 コラム エンパワメントとパワレスネス (P249), 7章-I-A-5 心理社会的リハビリテーションにおけるリカバリー概念と地域ケア (P389)	

目標Ⅳ

精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 精神疾患・障害がある者への看護	A. 脳の仕組みと精神機能	a. 脳の部位と精神機能	精神看護学① 1章-I 脳の構造と認知機能 (P30~46)	
		b. 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	精神看護学① 1章-I-A-1 神経組織 (P30~31), 5章-II-1-3 ストレス反応 (P154~157), 精神看護学② 3章-Ⅲ-A-3-1-2) 統合失調症のドパミン仮説と抗精神病薬の作用機序 (P152~154)	
		c. ストレス脆弱性仮説	精神看護学② 3章-II-B-1-5 発生機序 (P74)	
		d. 脳と免疫機能	精神看護学① 1章-I-A-2 中枢神経 (P31), 5章-II ストレスとコーピング (P152~157)	
		e. 睡眠障害と概日リズム〈サーカディアンリズム〉	精神看護学② 2章-I-2-9 睡眠の障害 (P37~38), I-2-9-4) 概日リズム睡眠-覚醒障害 (P38)	
	B. 心理・社会的療法	a. 個人精神療法	精神看護学② 3章-Ⅲ-D-3 精神療法各論 (P179~186)	106-PM-107, 105-PM-113
		b. 集団精神療法、集団力動	精神看護学② 3章-Ⅲ-D-3 集団精神療法(グループサイコセラピー) (P185)	106-AM-88, 104-PM-68
		c. 心理教育的アプローチ	精神看護学② 3章-Ⅲ-C-2-4 心理教育 (P175~176), Ⅲ-C-コラム IMR (P176)	
		d. 認知行動療法	精神看護学① 1章-II-F 認知行動療法 (P72~73), 精神看護学② 3章-Ⅲ-D-3-3 認知行動療法 (P180~181)	104-PM-110
		e. 生活技能訓練(SST)	精神看護学② 3章-Ⅲ-C-2-3 SST (social skill training : 社会技能訓練) (P174~175)	105-AM-60
	C. B以外の治療法	a. 電気けいれん療法	精神看護学② 3章-Ⅲ-B 電気けいれん療法 (P166~170)	107-AM-58
	D. 家族への看護	a. 家族のストレスと健康状態のアセスメント	精神看護学② 7章-Ⅲ-3-1 情報収集とアセスメント (P442~445)	105-PM-57, 112
		b. 家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント	精神看護学② 7章-Ⅲ-3-1 情報収集とアセスメント (P442~445), Ⅲ-3-2-2) 家族関係の理解 (P446), Ⅲ-3-2-3) ソーシャルサポート (P446)	107-PM-108
		c. 家族システムのアセスメント	精神看護学② 7章-Ⅲ-3-1 情報収集とアセスメント (P442~445)	
		d. 家族への教育的介入と支援	精神看護学② 3章-Ⅲ-D-3 家族療法 (P185~186), 7章-Ⅲ-3-2 家族への支援 (P445~448)	106-AM-114, 105-PM-111, 114
		e. 患者-家族関係	精神看護学② 7章-Ⅲ-1 患者家族の体験 (P439~441), Ⅲ-2 家族のケア提供 (P441~442)	104-PM-114

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 精神疾患・障害がある者への看護	E. 社会復帰・社会参加への支援	a. リハビリテーションの概念	精神看護学② 3章-Ⅲ-C-1 精神科リハビリテーション (P170~173)	
		b. 国際生活機能分類 (ICF)	精神看護学② 1章-Ⅲ-B 国際生活機能分類 (ICF) (P6~7), 3章-I-4 国際生活機能分類 (ICF) (P65)	
		c. 長期入院患者の退院支援	精神看護学② 7章-II-C 長期入院患者の地域生活への移行支援 (P410~422)	108-PM-64, 106-AM-111, 105-PM-59
	F. 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a. 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学② 3章-Ⅲ-C-3 精神科デイケア (P176~177)	107-PM-61, 103-AM-70
		b. 精神科訪問看護、訪問看護	精神看護学② 7章-II-C 地域精神保健福祉における多職種連携とアウトリーチ (P394~399), II-D 地域生活支援の実際 (P422~431)	
		c. 困難事例に関する行政との連携 (保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学① 4章-Ⅲ-2 地域における行政機関 (P142~143), 精神看護学② 7章-II-B 地域生活支援における保健師の役割 (P406~410)	105-PM-60
	G. 社会資源の活用とケアマネジメント 108-PM-114, 106-AM-108	a. 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学② 7章-I-A-4 ケアマネジメントモデル (P389)	
		b. 社会資源の活用とソーシャルサポート	精神看護学① 4章-Ⅲ-3-2 ソーシャルキャピタル (P145~146), 精神看護学② 7章-II-B-5 地域住民の理解とネットワークづくり (P408~410), Ⅲ-3-2-3 ソーシャルサポート (P446)	
		c. セルフヘルプグループ	精神看護学② 7章-Ⅲ-3-3) セルフヘルプグループ (P446)	106-PM-88, 105-AM-114
		d. 自立支援医療	精神看護学② 7章-II-A-3-2)-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~404), II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		e. 居宅介護 (ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		f. 重度訪問介護	精神看護学① 7章-II-2-3 障害者総合支援法 (P255), 精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		g. 生活介護	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		h. 短期入所 (ショートステイ)	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		i. 共同生活介護 (ケアホーム)	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		j. 生活訓練	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		k. 就労移行支援	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		l. 就労継続支援 A 型・B 型	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		m. 共同生活援助 (グループホーム)	精神看護学② 7章-II-A-3-(2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
4. 精神疾患・障害がある者への看護	G. 社会資源の活用とケアマネジメント	n. 地域生活支援事業	精神看護学① 7章-II-2-3 障害者総合支援法 (P255), 精神看護学② 7章-I-B-1 精神医療の改革と地域生活支援の強化 (P394), II-A-2 国が目指す精神保健医療福祉の改革とその方向性 (P401), II-A-3-2)- (2) 障害者総合支援法によるサービス (P403~406)	
		o. 精神障害者保健福祉手帳	精神看護学② 7章-II-A-3-1) 精神保健福祉法 (P401)	

目標 V

精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
5. 安全な治療環境の提供	A. 安全管理<セーフティマネジメント>	a. 病棟環境の整備と行動制限	精神看護学② 6章-I-C-2 病棟環境の整備 (P274~277), I-C-6 隔離・身体拘束 (P286~290)	
		b. 自殺、自殺企図、自傷行為	精神看護学② 6章-I-C-3 自殺・自殺企図・自傷行為 (P277~280)	107-AM-59
		c. 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学② 6章-I-C-4 攻撃的行動・暴力・暴力予防プログラム (P280~284)	
		d. 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学② 6章-I-C-2-3 災害時の精神科病棟の安全管理 (P276~277), 統合と実践②災害看護学 4章-VI-H 急性期の精神反応 (P176~182), 5章-II-B 災害による死とグリーフケア (P212~213), III-A 亜急性期のメンタルヘルスケア (P213~214)	
6. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A. 患者の権利擁護<アドボカシー>	a. 当事者の自己決定の尊重	精神看護学① 7章-III-B-1 自己決定の尊重, 入院患者の基本的な処遇 (P272), 精神看護学② 7章-I-A-5-2)- (1) 自己決定の尊重 (P390~392)	
		b. 入院患者の基本的な処遇	精神看護学① 7章-III-B 入院患者の処遇と権利擁護 (P272~278)	107-AM-89
		c. 精神医療審査会	精神看護学① 7章-III-B-3-3 精神医療審査会 (P278)	
		d. 隔離、身体拘束	精神看護学① 7章-III-B-3-1 隔離 (P275~277), III-B-3-2 身体的拘束 (P277~278)	104-PM-88
	B. 精神保健医療福祉の変遷と看護 108-PM-63, 106-AM-89	a. 諸外国における精神医療の変遷	精神看護学① 7章-I-A 諸外国における精神医療の歴史と現在 (P234~243), 精神看護学② 7章-I-A-2 欧米の精神科リハビリテーションの歴史と脱施設化 (P386~387), I-A-3 アメリカの病院入院主義から地域生活ケアへの流れ (P387~388), I-A-4 心理社会的リハビリテーションにおけるアプローチと治療者・患者関係 (P388~389), I-A-5 心理社会的リハビリテーションにおけるリカバリー概念と地域ケア (P389~394)	
		b. 日本における精神医療の変遷	精神看護学① 7章-I-B 日本における精神医療の歴史と現在 (P244~252), 精神看護学② 7章-I-A-1 わが国の精神保健医療福祉の歴史と動向 (P384~386)	105-AM-61
c. 精神保健医療福祉における看護師の役割		精神看護学① 序章-IV-B 精神看護の役割の広がり (P20~22), IV-C 精神看護の専門性 (P22~26), 7章-I-B-3-3 精神医療福祉における看護師の役割 (P252), 精神看護学② 7章-I-C 地域精神保健福祉における多職種連携とアウトリーチ (P394~399), II-C 長期入院患者の地域生活への移行支援 (P410~422), II-D 地域生活支援の実際 (P422~431), III-3 家族が危機を乗り越えるための援助 (P442~448)		

大項目	中項目	小項目	新体系看護学全書の該当箇所	過去の国家試験での出題履歴
6. 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	C. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の運用 108-AM-68, 106-AM-81	a. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の基本的な考え方	精神看護学① 7章-I-B-3-1-5) その後 (P250), II-1 何のために法律や制度を学ぶのか (P252), II-2-1 精神保健福祉法 (P252~254), III 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 (P258~259)	108-AM-69
		b. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>による入院の形態	精神看護学① 7章-III-A-2 任意入院 (P261~263), III-A-3 措置入院 (P263~265), III-A-4 医療保護入院 (P265~268), III-A-5 応急入院 (P268~271)	106-PM-56, 104-AM-68
		c. 精神保健指定医	精神看護学① 7章-III-A-1 精神保健指定医, 特定医師 (P259~260)	
7. 精神保健医療福祉における多職種連携	A. 多職種連携と看護の役割	a. 医師、歯科医師	精神看護学② 7章-II-C-4-2) 表7-11 各職種によるアセスメントのポイント (P416)	
		b. 保健師	精神看護学② 7章-II-B 地域生活支援における保健師の役割 (P406~410)	
		c. 精神保健福祉士	精神看護学② 7章-I-A-1-3 福祉モデル, 人権モデル (P386), II-C-4-2) 表7-11 各職種によるアセスメントのポイント (P416), II-C-4-2 精神保健福祉士の活動 (P417)	
		d. 作業療法士	精神看護学② 3章-III-C リハビリテーション療法 (P170~177), 7章-II-C-4-2) 表7-11 各職種によるアセスメントのポイント (P416)	
		e. 精神保健福祉相談員	精神看護学① 4章-III-2-1 地域における精神保健福祉に関する行政機関 (P142)	
		f. ピアサポーター	精神看護学② 7章-II-C-4-2) ピアサポートの活用 (P417)	
		g. 薬剤師	統合と実践①マネジメント 1編-4章-I-G チームワークとコミュニケーションの実際 (P71~75)	
		h. 栄養士	基礎看護学① 7章-I-C-2-1 医療施設においてチームを構成する職種 (P284~286)	
		i. 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)	精神看護学② 3章-III-D-4-3 専門職連携 (P187)	